KENWOOD

セパレートカスタムフィットスピーカー

KFC-SS160
取付説明書

株式会社 ケンウッド　Kenwood Corporation
B54-1271-00/00　KW

はじめに

お買い上げいただきありがとうございます。
取り付けにあたっては、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行なってください。

- この説明書に従って作業を進めてください。お読みになった後も大切に保管してください。お車の取扱説明書と一緒にしておかれるとよいでしょう。
- 適合車種は、化粧箱の底面を参照してください。
- 取り付け作業の説明でおわかりになりにくいところがありましたら、購入店または当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 当社カスタマーサポートセンターへのお問い合わせ先は、この説明書の「保証とアフターサービス」の下方に記載してありますのでご参照ください。

ご注意
1. 一部車種によってはシートベルトの取り外し、取り付けがあります。取り付けの際は車両側の規定トルクで締め付けてください。詳しくは販売店または自動車ディーラーにご相談ください。
2. 車種グレードによっては純正取付キットが必要となります。詳しくは販売店にご相談ください。
3. 取り付け作業の際にスピーカーを裏向きに伏せて置くとスピーカーが壊れる恐れがあります。ご注意ください。
4. 車種グレード・年式によっては車両の一部に変更がある場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

■ 必要工具

⊕ドライバー、⊖ドライバー、クリップドライバー、プライヤー、ニッパー、ビニールテープ、レンチ（TONE社 MODEL 800M など）、カッターナイフ、電動ドリル、ヤスリ

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証
この製品には、保証書を添付していません。
保証は、お買い上げ日を証明できるものの提示が必要です。領収書などを大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。
一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切な使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品の最低保有期間
当社は、このカースピーカーの補修用性能部品を製造打切後、最低 6 年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または ケンウッドのカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（持込修理）
異常のあるときは、ご使用を中止し、ケンウッドのカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
保証期間内でも「安全上のご注意」を守らない使用で故障および破損の場合には、原則として有料にさせていただきます。

保証期間中は
保証期間中は、当社の保証規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所が修理させていただきます。修理に際しましては、領収書など、お買い上げ年月日を証明できるものをご提示ください。

保証期間が過ぎているときは
保証期間が過ぎていても修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組
（有料修理の場合は、次の料金をいただきます。）

技術料	製品の故障箇所、原因診断など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。 技術者の人件費、技術習得費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代	修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

お買い上げ店名

年　月　日

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
  ナビダイヤル　0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
  携帯電話、PHS、IP 電話からは 045-450-8960　FAX 045-450-2287
  住所　〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
  受付時間　月曜から金曜　9:30 ～ 17:00
  土曜 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店か最寄りのサービスセンター、またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。http://www.kenwood.co.jp/
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My Kenwood）をお願いします。
  弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。http://jp.my-kenwood.com

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される場合を除き、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例
⚠ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
❗ 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告：取り付け・接続作業上の注意

取り付け、接続作業は販売店または専門の業者に依頼する
取り付け、接続作業はこの「安全上のご注意」に従って行う
❗ 取り付け、接続作業には、専門技術と経験が必要です。取り付け、接続作業は、安全のために必ずお買い上げの販売店または専門の業者に依頼してください。
取り付け、接続作業は、この「安全上のご注意」の指定に従ってください。
誤った取り付けを行うと、急ブレーキをかけたときに製品が外れて人にぶつかるなど、重大な事故が発生する危険性があります。
誤った接続を行うと、感電、火災の原因となります。
この「安全上のご注意」に従わない取り付け、取り付け不備を含め、これらによって発生した事故に対して、当社は一切責任を負うことができませんのでご注意ください。

包装用ビニール袋はかたづける
❗ 製品の包装に使われているビニール袋は、子どもがかぶって遊んだりしないよう、手の届かない所にかたづけてください。
かぶって遊んだりすると、窒息の危険があります。

作業時は、車両バッテリーの接続を外す
❗ 取り付け、接続を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子のコードを外してください。
バッテリーに接続したまま接続作業を行うと、ショート＊が起こり、火災の原因となります。

安全な場所に設置する
❗ 製品の取り付けは、ドライバーの視界を妨げない場所や、車の運転のじゃまにならない場所、急停車等の場合に同乗者に危険を与えない場所、エアバッグの作動に支障がない場所に取り付けてください。
安全な場所に取り付けない場合、けが、事故の原因となります。

工具は寸法が合ったものを使用する
❗ ボルト、ナットで製品を固定するときは、寸法の合った工具を使用して確実に締め付け、固定してください。指示トルクがあるものは、指定されたトルクで締め付けてください。
合わない工具を使用すると、ボルト、ナットをいためたり、締め付け不十分により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

取り付けには専用の付属品を使用する
❗ 製品の取り付けには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。
取り付け不備により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

タンクや電気配線を傷つけない
⃠ 車両に穴を開けて製品を取り付ける場合、ガソリンタンク、パイプ類、他の電気配線などの位置を確認のうえ、これらを絶対に傷つけないようにしてください。
これらのものが傷つくと、火災の原因となります。

コードは正しく接続する
スピーカーコードは、スピーカー出力コードまたは端子に直接接続してください。
❗ 車体に直接ねじ止めをしたり、スピーカーコードの⊖側を共通にして接続すると、破損、火災の原因となります。

指定以外のコードは使わない
⃠ 指定されたもの以外のコードは使用しないでください。
発熱し、火災の原因となることがあります。
指定コードが不明の場合は、販売店または当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

配線コードはテープを巻いて保護する
❗ 車両の金属部近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
金属の端部分は鋭くなっていて、コードを傷めます。
コードが傷つくと、感電やショート＊による火災の原因となります。

電源コードの被覆を切った配線はしない
⃠ 電源コードの被覆を途中で切って、他の機器の電源を取ることは、絶対におやめください。
ショート＊が起こり、火災の原因となります。

重要保安部品には接続しない
⃠ アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けて、アースをとらないでください。
重要保安部品のボルトやナットにアースコードを取り付けてアースをとると、車両の機能が損なわれ交通事故の原因となります。

取り付け、接続後車両の点検を行う
❗ 製品の取り付け、接続が終了したら、車両のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを必ず確認してください。
誤った接続などで車両の機能が損なわれていると、交通事故の原因となります。

⚠ 注意：取り付け・接続作業上の注意

接続コードを引っ張らない
⃠ 接続コードのコネクタを外すときは、コードを引っ張らずにコネクタをもって外してください。コネクタにロックがあるものは、ロックを解除して外してください。
コードの断線や接触不良により、感電や火災の原因となります。

直射日光はさける
❗ 直射日光が当たるところや、ヒーターの熱風が直接当たる場所への設置はさけてください。
製品に悪い影響を与え、火災の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない
⃠ 雨が吹き込むところや、水がかかるおそれのある場所への設置はさけてください。
コードの断線や接触不良により、感電や火災の原因となります。

⚠ 警告：取り扱い上の注意

運転中にカーステレオの操作をしない
⃠ カーステレオの操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
運転しながら操作を行うと、気を取られて交通事故の原因となります。

大音量は禁止
❗ 走行中は、車外の音が聞こえなくなるような大音量にはしないでください。
周りの出来事に気づかず、交通事故の原因となります。

異常な音を出し続けない
⃠ スピーカーを長時間、音がわれたり、歪んだ状態で使わないでください。
発熱し、火災の原因となります。
また聴力に悪い影響を与えることがあります。

機器のケースを開けたり改造したりしない
⃠ 改造やお客さまによる修理は、火災その他の事故の原因となります。

⚠ 注意：取り扱い上の注意

車両以外には使わない
⃠ 本製品は車両に設置して使うように設計されたものです。他の用途では使用しないでください。
取り付け不備により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

上に乗らない、物を載せない
⃠ 製品の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。また、製品の上に物を載せないでください。
これらにより、取り付けが弱くなったりして、けがの原因となります。

上に飲料水などの入った容器を置かない
⃠ 製品の上に、コップに入った飲料水など液体が入った容器を置かないでください。
液体がこぼれ製品の中に入ると、感電や火災などの原因となります。

ほこりや湿気の多い場所、不安定な場所をさける
❗ ほこりがかかるところや湿気の多い所、振動の多い場所、ガタつきのある不安定な場所への設置はさけてください。
感電、火災やけがの原因となります。

取り付け用部品は子どもの手の届かないところに置く
❗ 付属の取り付け用部品には、小さな部品があります。過って飲み込まないように、以下の点を注意してください。
●取り付け、取り外しを行うときは、子どもの手の届くところに部品を放置しないでください。
●作業後は行方がわからない部品が無いことを、付属品一覧で部品、数量を確認してください。
●使用しない部品は、子どもの手の届かないところに保管してください。
万一、子どもが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

点検、修理は販売店、ケンウッドサービスセンターへご相談ください。

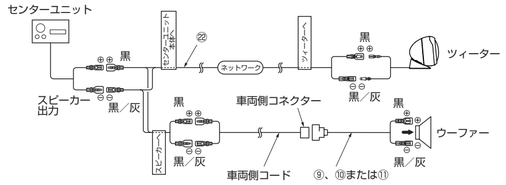
異物を入れない
⃠ 製品の通風孔、開口部から内部にゴミやドライバーなどの工具を落としたり、入れたりしないでください。
異物が入ると、ショート＊が起こり、感電や火災などの原因となります。

異常が起きた場合は、すぐに使用を中止する
❗ 次のような異常がおきた場合は、すぐに使用を中止してください。
●音が出ない ●水がかかった ●金属や紙などの異物が入った ●煙が出る ●変な臭いがする
そのまま使用を続けると、火災、その他の事故の原因となります。
異常が起きた場合は、カーステレオの電源スイッチを切り安全を確かめてから、販売店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。

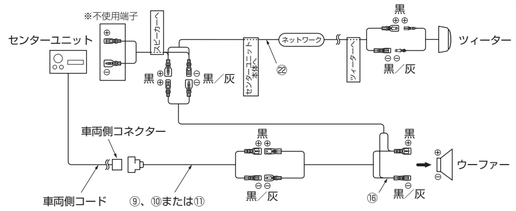
＊ショート
電気のプラスとマイナスが、直接つながってしまう事をいいます。むき出しになったコード（電気配線）が、他のコードや車の金属部に接触したときなどに起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災の原因となります。

■ 接続のしかた

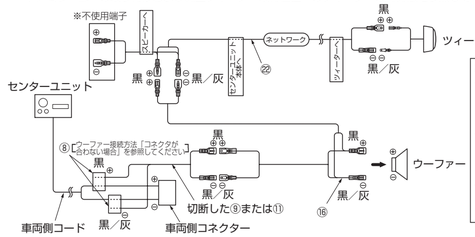
●【接続例 1】センターユニットからネットワーク／ツィーターの配線をする（ダッシュボードおよびダッシュボード純正ツィーター取付位置へ取り付ける場合）
ダッシュボードへの取り付けおよび純正ツィーター取付位置へのツィーター取付方法を参照してください。



●【接続例 2】ウーファー部からネットワーク／ツィーターの配線をする（ドアガーニッシュおよびドアトリム純正ツィーター取付位置へ取り付ける場合）
ドアミラー部への取り付けおよび純正ツィーター取付位置へのツィーター取付方法を参照してください。



●【接続例 3】ウーファーをエレクトロタップで配線をする（ドアガーニッシュおよびドアトリム純正ツィーター取付位置へ取り付ける場合）
ドアミラー部への取り付けおよび純正ツィーター取付位置へのツィーター取付方法を参照してください。



ご注意
・ネットワークは必ず付属のものを使用してください。使用しない場合は破損の恐れがあります。
・不使用端子はショート事故防止のため絶縁テープを巻いて保護してください。
・接続は、接続例を参照して⊕・⊖の極性に注意して接続してください。

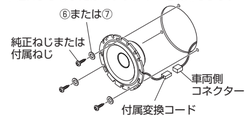
■ ウーファー付属品 ● 本機にはウーファー用に下記の部品が付属されていますのでご確認ください。

①		タッピングねじ…8（φ 6 × 20 ㎜）	⑤		タッピングねじ…6（M6 × 20 ㎜）	⑨		変換コード……2（ホンダ車用）	⑬		パッキン（厚）……2
②		タッピングねじ…8（φ 5 × 20 ㎜）	⑥		ワッシャー……8（φ 6）	⑩		変換コード……2（日産、三菱車用）	⑭		アタッチメント……8
③		タッピングねじ…8（φ 4 × 20 ㎜）	⑦		ワッシャー……8（φ 4）	⑪		変換コード……2（日産車用）	⑮		スペーサー……2（ゴム）
④		小ねじ……8（M 4 × 12 ㎜）	⑧		エレクトロタップ……4	⑫		パッキン（薄）……2	⑯		接続コード……2

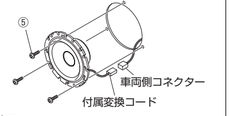
■ ウーファー取付例

※ 車両側コネクターに接続した変換コードへのスピーカーの接続方法は“ウーファー接続方法”を参照してください。

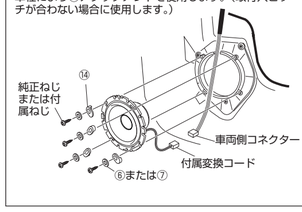
● 取付例 A
車種により⑥または⑦ワッシャーを使用します。



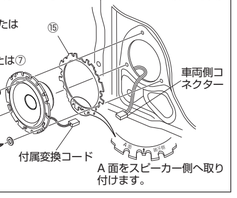
● 取付例 B
車種により⑤タッピングねじを使用します。（純正スピーカーがリベット止めの場合に、リベットを切り取って使用します。）



● 取付例 C
車種により⑭アタッチメントを使用します。（取付穴ピッチが合わない場合に使用します。）



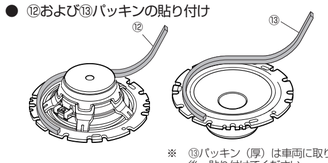
● 取付例 D
車種により⑮スペーサーを使用します。［A 面をスピーカー側へ取り付けます。］（フレームが落ちない場合に使用します。）



■ ウーファー取付準備

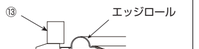
※ 防振・防滴のために⑦および⑧パッキンを貼り付けます。

● ⑫および⑬パッキンの貼り付け



※ ⑬パッキン（厚）は車両に取り付け後、貼り付けてください。

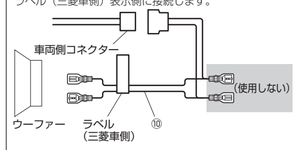
ご注意
・必ず付属のパッキンをご使用ください。パッキンを使用せずに取り付けると車室内に水が漏れる場合があります。
・付属のパッキンは、ウーファーのエッジロールにつかないように貼り付けてください。



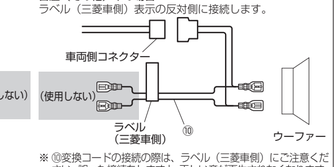
■ ウーファー接続方法

● ⑩日産・三菱車用変換コードの使いかた

三菱車の場合：
ラベル（三菱車側）表示側に接続します。



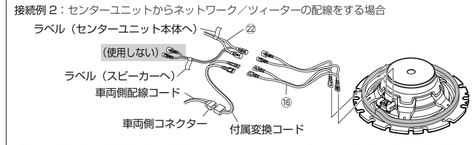
日産（その他）車の場合：
ラベル（三菱車側）表示の反対側に接続します。



※ ⑩変換コードの接続の際は、ラベル（三菱車側）にご注意ください。誤った接続をしますと、正しい音が再生されなくなります。

● 付属変換コードの使用例
接続例 1：センターユニットからネットワーク／ツィーターの配線をする場合

接続例 2：センターユニットからネットワーク／ツィーターの配線をする場合

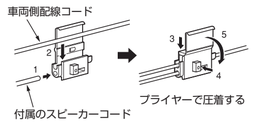


● コネクターが合わない場合（⑧エレクトロタップの使用例）
❶ 変換コード（⑨または⑪）を切断します。

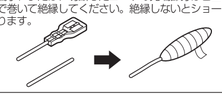
❷ ⑧エレクトロタップで接続します。

※ ⊕⊖各々極性を合わせて接続します。
付属変換コードの灰色ライン側：⊖極性

● エレクトロタップの使いかた



ご注意
使わない端子、または、切断したコードの先端部分はビニールテープ等で巻いて絶縁してください。絶縁しないとショートの恐れがあります。



■ ウーファー取付例

●取付例 A：ダッシュボードへの取り付け（アングルマウント）

※ 運転席側のウーファーは助手席方向へ向け、助手席側のウーファーは運転席方向へ向けて配置します。

●取付例 B：ドアミラー部への取り付け（サーフェースマウント）

※ 車種によってはドアミラー部へ取り付けできない場合があります。
※ アングルマウントでの取り付けは行なわないでください。

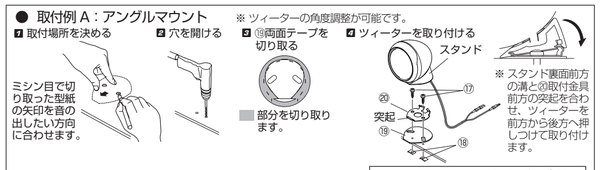
●取付例 C：純正ティーター取付位置への取り付け
右の“■純正ティーター取付位置への取付方法”をご覧ください。

■ ティーター取付方法

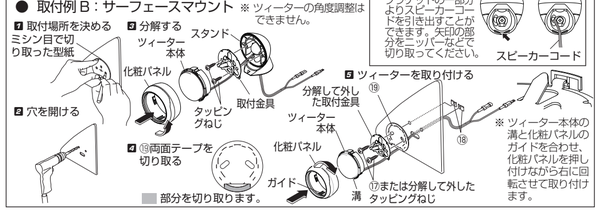
● 作業をする前に
・穴加工前に、化粧箱の型紙（内フラップにあります）で取り付け場所を確認してください。
・雑音防止のため、車両側の電装系コード、高電流コード、その他の雑音源から離して配線してください。
・ショート防止のため、可動部品、シャープエッジ等から離して配線してください。
・配線が終了するまで、車を始動しないでください。またセンターユニットの電源を入れないでください。

● 取付手順
1. ティーター取付例を参考にして、取付場所を決めます。
2. 型紙を用いてフェルトペン等で抜くのマークを付けます。
3. マークに沿って、スピーカーコード用穴とねじ穴をあけます。
4. ⑲両面テープを取付方法に従ってハサミなどで切り取ります。
5. 切り取った⑲両面テープと㉔取付金具あるいはティーターを分解して外した取付金具を⑰タッピングねじあるいはティーターを分解して外したタッピングねじと⑱スピードナットを用いて所定の位置に取り付けます。
6. ティーター取り付けの詳細は、下図を参照してください。

● 取付例 A：アングルマウント　※ ティーターの角度調整が可能です。



● 取付例 B：サーフェースマウント　※ ティーターの角度調整はできません。



■ ティーター付属品 ● 本機にはティーター用に下記の部品が付属されていますのでご確認ください。

⑰		タッピングねじ…4（φ 3 × 16 ㎜）	⑲		両面テープ……2	㉑		ブラケット……2	㉒		ネットワーク付コード……2
⑱		スピードナット…4（φ 3）	⑳		取付金具……2						

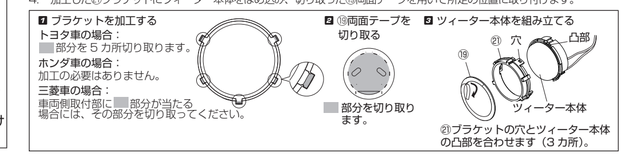
ご注意
スピーカー、スピーカーコード、ネットワークがガラスなどに接触しないように取り付けてください。

取付例 C

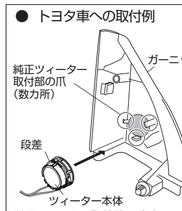
■ 純正ティーター取付位置への取付方法

※ 車種によっては純正ティーターと交換することができます。詳しくは販売店にご相談ください。

● 取付手順
1. 左の“ティーター取付方法 取付例：B の ❶ ”を参照し、ティーターを分解します。
2. 車種に合わせ㉑ブラケットを加工します。（加工しない車種もあります。）
3. ⑲両面テープを取付方法に従ってハサミなどで切り取ります。
4. 加工した㉑ブラケットにティーター本体をねじ込み、切り取った⑲両面テープを用いて所定の位置に取り付けます。

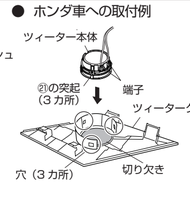


● トヨタ車への取付例



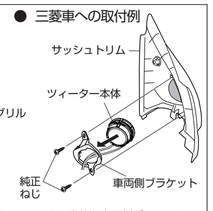
純正ティーター取付部の爪がティーター本体の段差に引っかかるようにはめ込みます。配線は付属の㉒ネットワーク付コードを使用し、ウーファーから引き回します。
車種によっては純正スピーカーに配線している 4 ピンコネクターを配線し直す必要があります。

● ホンダ車への取付例



ティーター本体の端子を純正ティーター取付部の切り欠きに合わせ、純正ティーター取付部の穴に㉑ブラケットの突起がはまるようにはめ込みます。配線は付属の㉒ネットワーク付コードを使用し、“接続のしかた”を参照して引き回します。

● 三菱車への取付例

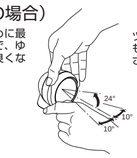


ティーター本体を車両側ブラケットの表側からはめ込みます。取り付けた車両側ブラケットを純正ねじにて純正ティーター取付部に戻します。配線は付属の㉒ネットワーク付コードを使用し、ウーファーから引き回します。

※ 車両側のはめ込み部位がゆるい場合には結束バンドや接着剤等で補強します。

■ 角度の調整（アングルマウントの場合）

本製品のティーターは取付後でも音楽などを楽しむために最適な角度に調整することができます。図のような方法で、ゆっくりと向きを変えて左右の首のバランスがちょうど良くなる角度にします。



ティーターの台座を押さえながら、もう片方の手で上下左右方向へ回転させます。

※ 台座を押さえずに回転させると、ティーターが取付金具から外れる場合があります。

ご注意
・無理な角度に調整しないでください。
・不使用端子はショート事故防止のため絶縁テープを巻いて保護してください。
・頻繁に角度調整を行ったり、無理な力で動かすと、調整された角度を保てなくなる場合があります。
・直射日光下ではティーターのケースが高温になります。やけどの危険がありますので十分に車室内を冷却してから調整を行ってください。

カスタムフィットスピーカー　KFC-SS160　取付説明書

※下記年式表記中の「現在」はH21年12月現在を指します。

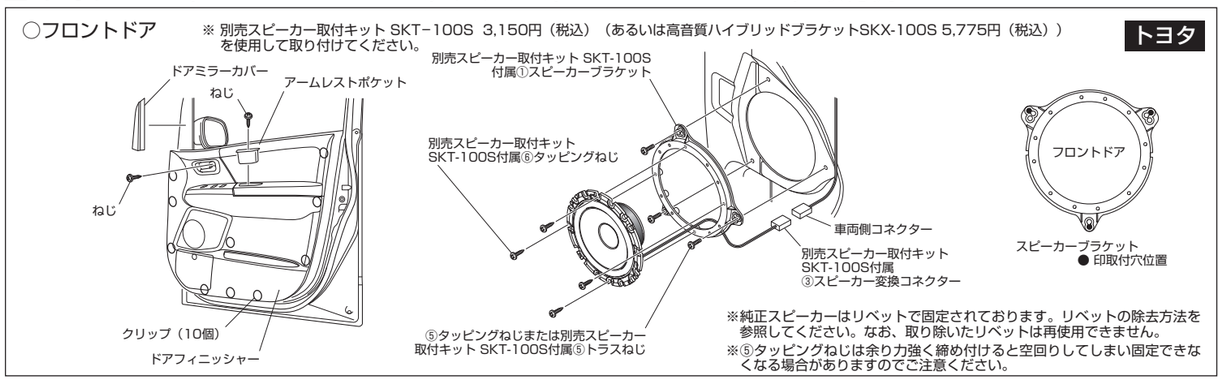
※ここにある取付例は、基本的に運転席側を表しています。

■ ヴォクシー（H13/11～H19/6）／ノア（H13/11～H19/6）取付例

トヨタ

○フロントドア

※ 別売スピーカー取付キット SKT−100S 3,150円（税込）（あるいは高音質ハイブリッドブラケットSKX-100S 5,775円（税込））を使用して取り付けてください。



※純正スピーカーはリベットで固定されております。リベットの除去方法を参照してください。なお、取り除いたリベットは再使用できません。
※⑤タッピングねじは余り力強く締め付けると空回りしてしまい固定できなくなる場合がありますのでご注意ください。

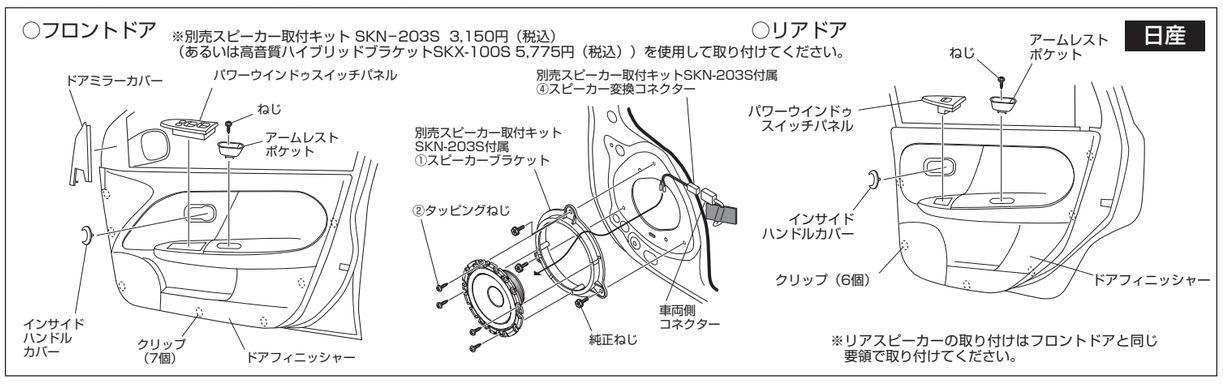
■ ノート（H17/1～現在）取付例

日産

○フロントドア

※別売スピーカー取付キット SKN−203S 3,150円（税込）（あるいは高音質ハイブリッドブラケットSKX-100S 5,775円（税込））を使用して取り付けてください。

○リアドア



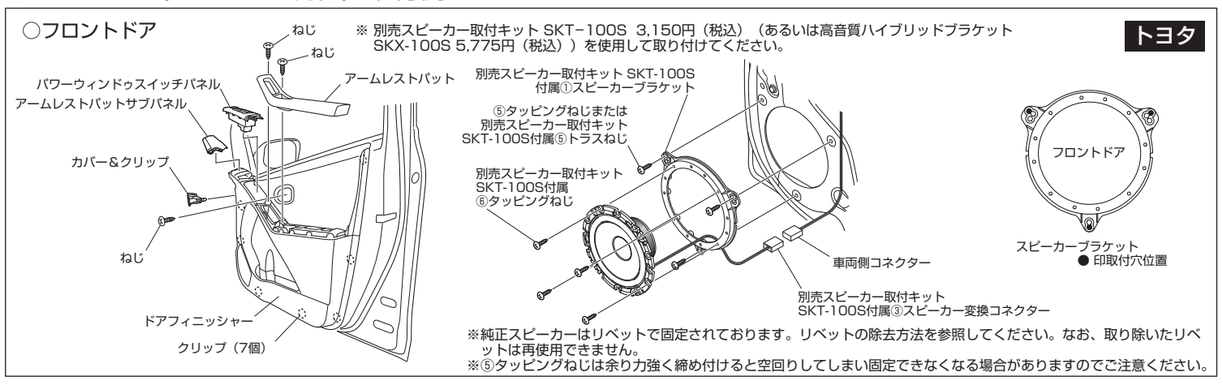
※リアスピーカーの取り付けはフロントドアと同じ要領で取り付けてください。

■ ヴィッツ（H17/2～現在）取付例

トヨタ

○フロントドア

※ 別売スピーカー取付キット SKT−100S 3,150円（税込）（あるいは高音質ハイブリッドブラケット SKX-100S 5,775円（税込））を使用して取り付けてください。



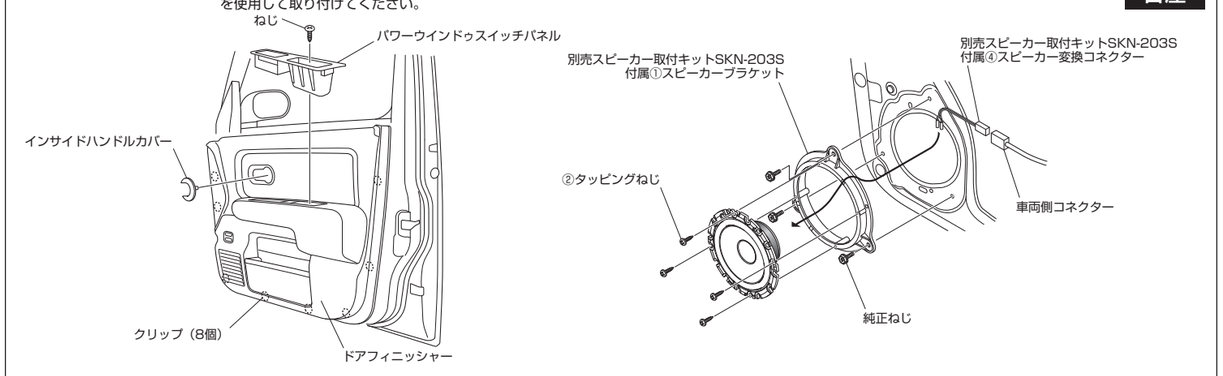
※純正スピーカーはリベットで固定されております。リベットの除去方法を参照してください。なお、取り除いたリベットは再使用できません。
※⑤タッピングねじは余り力強く締め付けると空回りしてしまい固定できなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ キューブ（H14/10～H20/11）取付例

日産

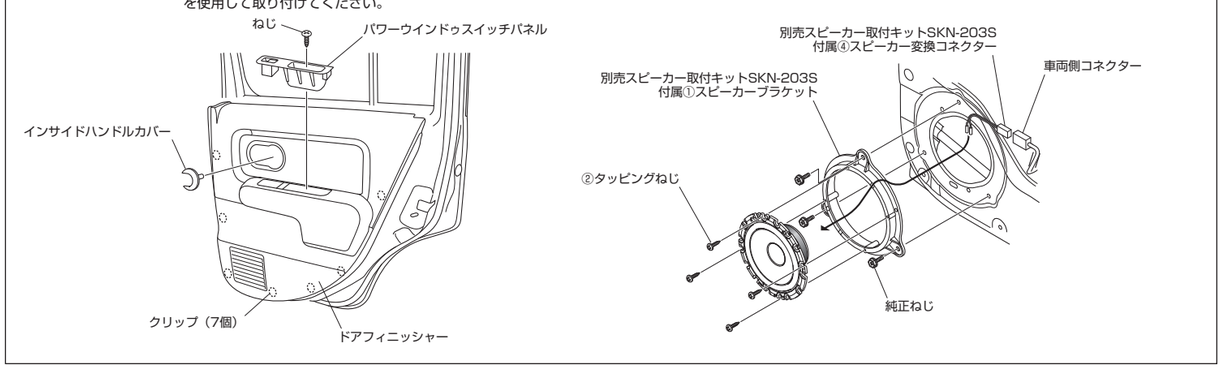
○フロントドア

※ 別売スピーカー取付キット SKN−203S 3,150円（税込）（あるいは高音質ハイブリッドブラケットSKX-100S 5,775円（税込））を使用して取り付けてください。



○リアドア

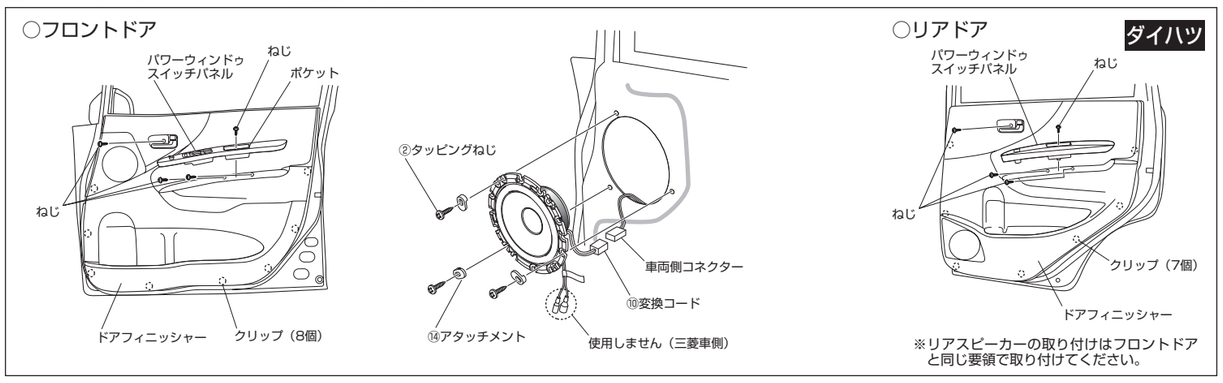
※ 別売スピーカー取付キット SKN−203S 3,150円（税込）（あるいは高音質ハイブリッドブラケットSKX-100S 5,775円（税込））を使用して取り付けてください。



■ ムーヴ（H18/10～現在）取付例

ダイハツ

○フロントドア

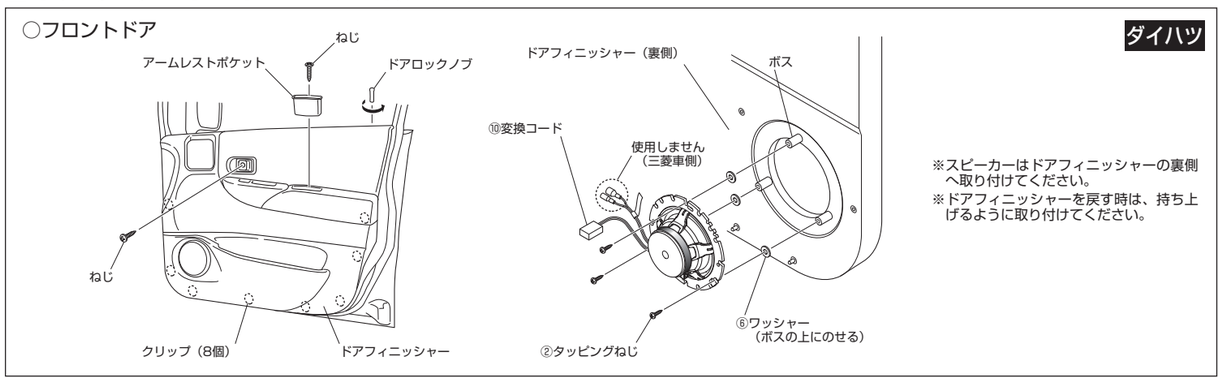


※リアスピーカーの取り付けはフロントドアと同じ要領で取り付けてください。

■ ムーヴ（H10/10～H14/10）取付例

ダイハツ

○フロントドア



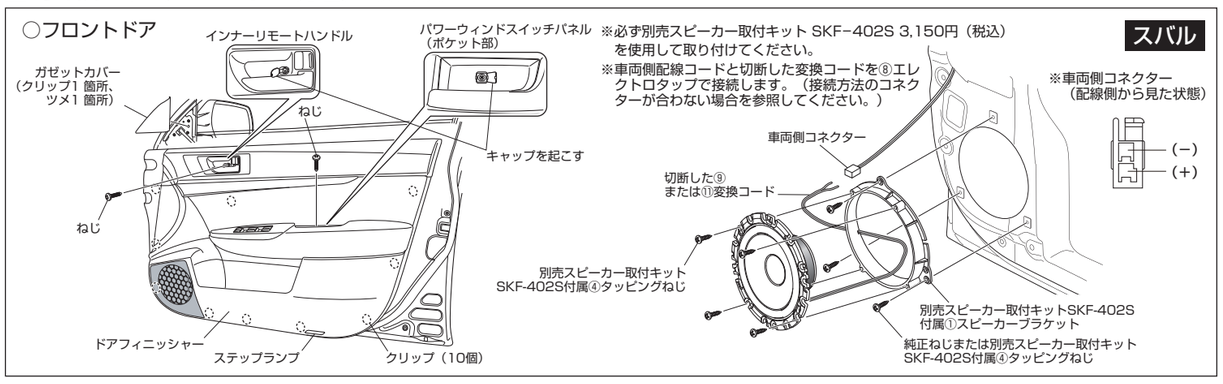
※スピーカーはドアフィニッシャーの裏側へ取り付けてください。
※ドアフィニッシャーを戻す時は、持ち上げるように取り付けてください。

■ レガシィ（H21/5～現在）取付例

スバル

○フロントドア

※必ず別売スピーカー取付キット SKF−402S 3,150円（税込）を使用して取り付けてください。
※車両側配線コードと切断した変換コードを⑧エレクトロタップで接続します。（接続方法のコネクターが合わない場合を参照してください。）

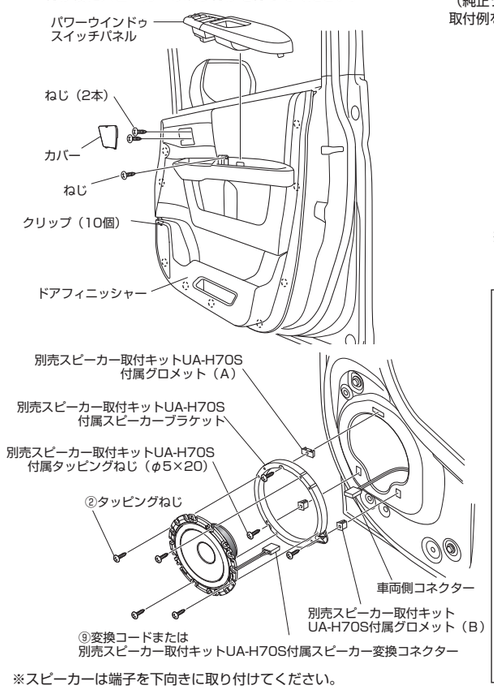


■ ステップワゴン（H21/10～現在）取付例

ホンダ

○フロントドア

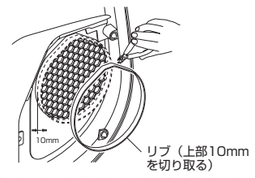
※別売スピーカー取付キット UA−H70S 4,200円（税込）（あるいは高音質ハイブリッドブラケットSKX-200S 5,775円（税込））を使用し、取付キットの付属品を取り付け後にスピーカーの取り付けを行ってください。



※スピーカーは端子を下向きに取り付けてください。

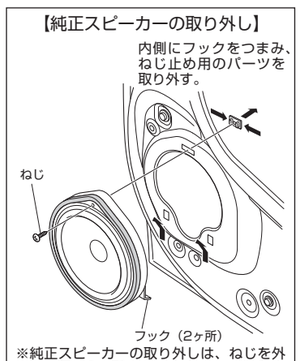
○ 純正ツィーター位置へのツィーター取付

ダッシュボード両側にあるツィーターグリルを外し、その裏側の純正ツィーター位置爪穴3カ所に固定します。（純正ツィーター取付位置への取付方法のホンダ車への取付例を参照してください。）



※スピーカーと干渉しますので、スピーカーグリル裏のリブを、左図位置の上部約10mmを全周切り取ってください。

【純正スピーカーの取り外し】

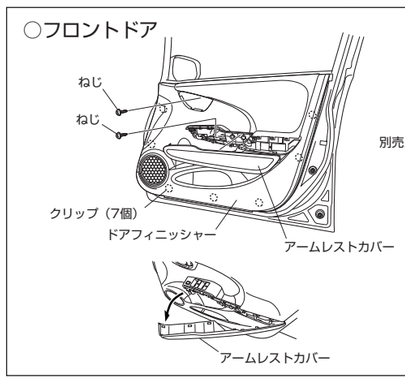


※純正スピーカーの取り外しは、ねじを外し、下部2ヶ所のフックを持ち上げるように外してください。

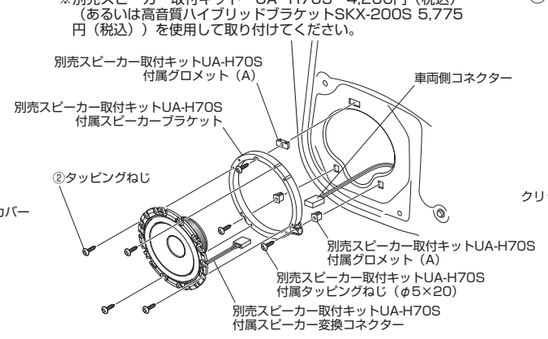
■ フィット（H19/10～現在）取付例

ホンダ

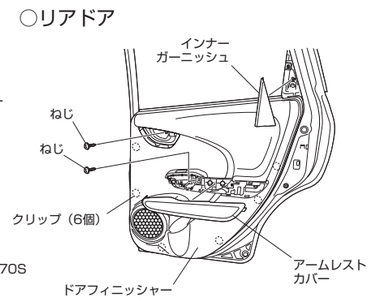
○フロントドア



※別売スピーカー取付キット　UA−H70S　4,200円（税込）（あるいは高音質ハイブリッドブラケットSKX-200S 5,775円（税込））を使用して取り付けてください。

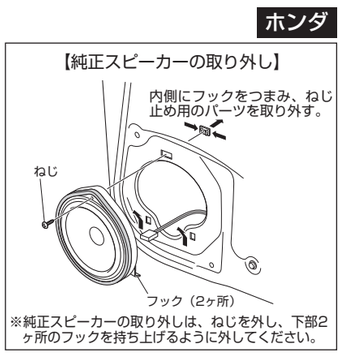


○リアドア



※リアスピーカーの取り付けはフロントドアと同じ要領で取り付けてください。

【純正スピーカーの取り外し】

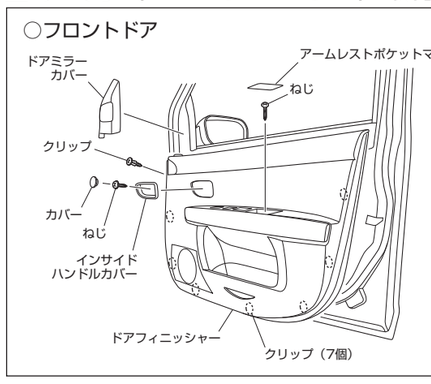


※純正スピーカーの取り外しは、ねじを外し、下部2ヶ所のフックを持ち上げるように外してください。

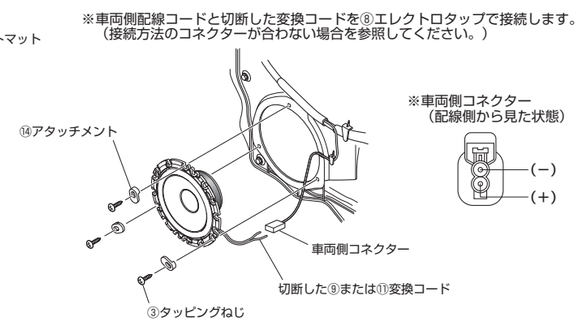
■ デミオ（H14/8～H19/7）取付例

マツダ

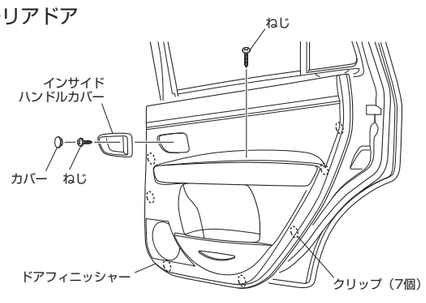
○フロントドア



※車両側配線コードと切断した変換コードを⑧エレクトロタップで接続します。（接続方法のコネクターが合わない場合を参照してください。）



○リアドア

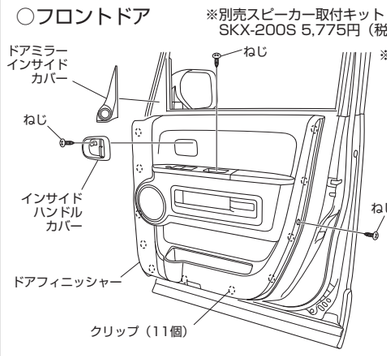


※リアスピーカーの取り付けはフロントドアと同じ要領で取り付けてください。

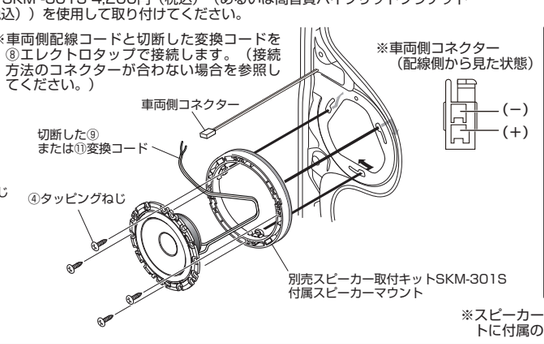
■ デリカ D:5（H19/1～現在）取付例

○フロントドア

※別売スピーカー取付キット SKM -301S 4,200円（税込）（あるいは高音質ハイブリッドブラケット SKX-200S 5,775円（税込））を使用して取り付けてください。

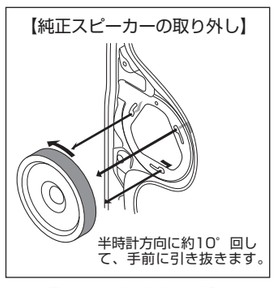


※車両側配線コードと切断した変換コードを⑧エレクトロタップで接続します。（接続方法のコネクターが合わない場合を参照してください。）



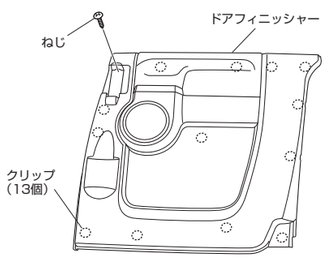
※車両側コネクター
（配線側から見た状態）
(−)
(+)

【純正スピーカーの取り外し】



※スピーカー本体とスピーカーマウントは、取付キットに付属の取付説明書に従って取り付けてください。

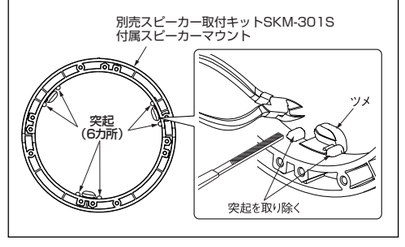
○リアドア



※リアスピーカーの取り付けはフロントドアと同じ要領で取り付けてください。

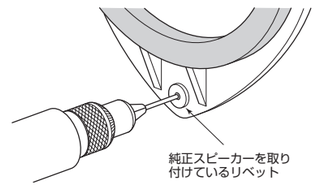
三菱

※スピーカーマウントの6カ所の突起をニッパーとヤスリで取り除いてください。



■ リベットの除去方法

●純正スピーカーがリベットで固定されている場合

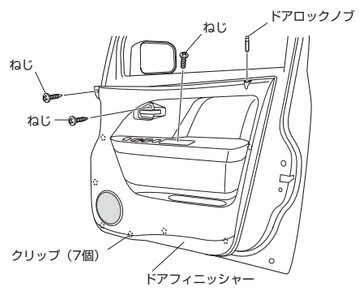


リベットのロック部（中心部）にドリルで穴をあける要領で、こじりながら取り除き、リベット本体も取り除きます。
※リベットの破片も拾って取り除きます。
※取り除いたリベットは、再使用出来なくなります。

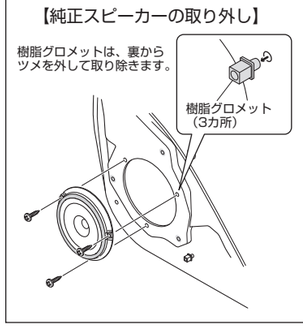
■ ワゴンR（H15/9～H20/9）取付例

○フロントドア

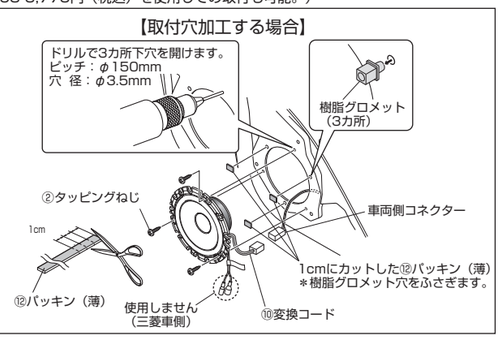
（※別売高音質ハイブリッドブラケットSKX-200S 5,775円（税込）を使用しての取付も可能。）



【純正スピーカーの取り外し】

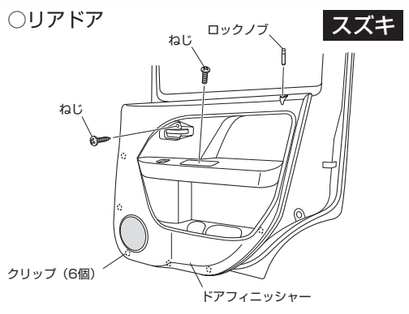


【取付穴加工する場合】



○リアドア

スズキ



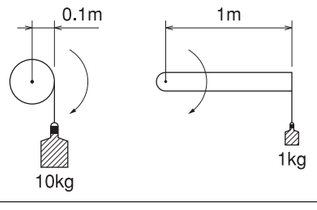
※リアスピーカーの取り付けはフロントドアと同じ要領で取り付けてください。

締め付けトルクについて

ものを　ねじる力　のことをトルクと呼んでいます。一本の野球のバットを、一人はグリップ、もう一人は先端の太い部分というように二人で握り、互いに逆方向へねじる競争をすると、太いほうを握っている人の方が有利ですね。このように同じ力を使っても、半径の大きなものを回したほうが中心にかかる　ねじれの力　つまりトルクは大きくなります。

〔ねじの締め付けトルク〕；大人が通常のドライバーを使って普通の力でねじ締めするときのトルクが、大体1～2N･m（0.1～0.2kgf･m）です。

〔ボルトの締め付けトルク〕；必要工具に例としてあげたMODEL 800Mの工具をつかい、25kgの力で締める時のトルクが大体　49N･m（5kgf･m）です。（この工具のハンドルのグリップ部までの長さは0.2m（20cm）です）。



どちらも同じ9.8　N･m（1kgf･m）のトルクです。